

市町村建設計画「緑あふれる新県都プラン」

平成26年度実施計画

平成26年5月

秋 田 市

目次

I	計画の概要	2
II	「まちづくり」別計画	
1	環境と調和し快適に暮らす緑豊かなまちづくり	3
2	豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまちづくり	7
3	安心して健康にすごす助け合いのまちづくり	8
4	可能性を伸ばし生きがいを持てる文化のまちづくり	11
5	自ら考え主体となって参加する開かれたまちづくり	12
III	進捗状況	14

I 計画の概要

1 策定の趣旨

新市の特性を最大限に活かしつつ、市域全体の均衡ある発展と速やかな一体性の確保と市民生活のさらなる向上をはかり、「しあわせ実感 緑の健康文化都市」を実現していくため、「緑あふれる新県都プラン」に掲載された主要事業をまとめ、これを示すものです。

2 計画の期間

本計画の期間は、平成17年度から27年度までの11年間とし、前期6年（平成17年度～22年度）、後期5年（平成23年度～27年度）に区分しています。

3 計画の構成と対象事業

「緑あふれる新県都プラン」の5つの「まちづくり」にある施策ごとに、市が実施主体となって行う事業や市が費用負担・補助を行う政策的事業を掲載しています。

今回は、同プランに掲載する事業のうち、26年度当初に予算化された43事業について掲載しています。

4 計画の実効性と弾力性の確保

計画の推進にあたっては、社会経済状況や市民の行政需要、財政状況等の変化に適切に対応しながら進行管理を行い、計画の実効性と弾力性を確保することが必要です。このため、本計画は、毎年度の事業計画（予算編成）を踏まえて改訂を行っていきます。

II 「まちづくり」別計画

- 1 環境と調和し快適に暮らす緑豊かなまちづくり
- 2 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまちづくり
- 3 安心して健康にすごす助け合いのまちづくり
- 4 可能性を伸ばし生きがいを持てる文化のまちづくり
- 5 自ら考え主体となって参加する開かれたまちづくり

事業名	全体事業概要	26年度事業概要	H26当初予算 (単位：千円)	うちH25年度か らの繰越額 (単位：千円)
第1章 環境と調和し快適に暮らす緑豊かなまちづくり			3,221,207	371,775
第2節 交通体系の整備			253,012	0
バス交通総合改善事業	郊外部における地域住民の移動手段としてマイタウン・バスを運行するとともに、地域特性や利用状況に応じた公共交通形態の再構築を行い、市民の移動手段の確保と充実を図る。	秋田市マイタウン・バス西部線、北部線、南部線、東部線、笹岡線を運行する。	180,727	
【バス交通総合改善事業】				
地方バス路線維持対策経費	生活バス路線は、日常の市民生活を支える移動手段として重要であることから、バス事業者に対し運行にかかる経費の一部を補助し、市民の移動手段の確保を図る。	日常生活の移動手段として重要な生活バス路線を維持するため、国、県、市の補助要綱に基づき路線バス事業者に対して助成する。	72,285	
【地方バス路線維持対策事業】				
第3節 道路網の整備			96,178	49,578
県施行合併支援関係道路整備事業負担金	合併支援に資する県施行の街路事業に対し、整備費用の一部を負担する。(川尻広面線、千秋広面線、新屋土崎線、秋田中央道路)	県が施行する3路線の都市計画道路の整備費用の一部を負担する。 ①川尻広面線(横町)(H26-H32) 長さ=344m 幅=25m ②千秋広面線(手形)(H8-H28) 長さ=540m 幅=25-35m ③新屋土崎線(山王)(H15-H26) 長さ=600m幅=22.2-30m	37,591	24,991
【県施行街路事業負担金(合併支援道路関連)】				
(建)道路改良事業 鹿野戸安養寺線	雄和椿川地内の主要地方道秋田雄和本荘線から県立中央公園、秋田空港等へ連絡する路線の急勾配、歪曲区間を解消する道路改良工事を進める。	河辺と雄和を結ぶ幹線道路の改良工事を行う。 長さ=290m。	24,587	24,587
【道路改良事業 鹿野戸安養寺線】				

事業名	全体事業概要	26年度事業概要	H26当初予算 (単位：千円)	うちH25年度か らの繰越額 (単位：千円)
道路改良事業 中の沢線 【道路改良事業 中の沢線】	雄和萱ヶ沢地区と由利本荘市大内地域を結ぶ生活幹線道路であり、山間部を抜けるため、急勾配、歪曲区間が多い道路である。安心して安全な道路通行を確保するため、縦断勾配の緩和と一部路線拡幅を行う。長さ=400m、幅=6m	道路改良を実施する。 長さ=400m。	34,000	
第4節 市街地の開発整備			1,357,837	0
秋田駅西北地区土地区画整理事業 【土地区画整理事業 秋田駅西北地区】	地区面積 5.8ha 事業施行期間 H6年度～H26年度 総事業費 131億円 都市計画道路 3路線 公園整備 1箇所 区画道路 11路線 建物移転 63戸	土地区画整理事業を行う。 区画道路築造、建物移転補償、道路設計等。	67,767	
秋田駅東第三地区土地区画整理事業 【土地区画整理事業 秋田駅東第三地区】	地区面積 45.5ha 事業施行期間 H5年度～H42年度 総事業費 423億円 都市計画道路 9路線 公園整備 7箇所 区画道路 98路線 建物移転 1,097戸	土地区画整理事業を行う。 都市計画道路築造、区画道路築造、建物移転補償、用地取得。	1,290,070	
第5節 住宅環境の整備			116	0
住生活基本計画推進経費 【住宅マスタープラン推進事業】	市民の住生活の安定確保および向上の推進を図るため、住宅の耐震診断・改修やマンションの適切な管理に関する講習会等を開催する。	民間住宅の耐震化およびマンションの適正管理に関する講習会等を行うとともに、「マイホーム借上げ制度」の普及を促進する。	116	

事業名	全体事業概要	26年度事業概要	H26当初予算 (単位：千円)	うちH25年度か らの繰越額 (単位：千円)
第6節 上・下水道の整備			1,497,897	322,197
浄水場施設改良等事業 【浄水場施設改良事業（河辺地域）】	雄和・河辺地区水道施設の整備を計画的に実施する。	災害に強くより安定的な水道水の供給を目指し、河辺地域および雄和地域における浄水場等基幹施設の電気・機械、計装設備等を整備更新する。	40,900	
雄和地域送配水管等整備事業 【仁井田・雄和送水施設整備事業】	送水管布設 口径250 長さ=12,763m(四ツ小屋～雄和浄水場)。口径200 長さ=11,388m(雄和浄水場～清水木浄水場)。送配水管布設替(雄和平尾鳥地内ほか) 雄和ポンプ場築造。「仁井田・雄和送水施設整備事業」については、名称を変更して本事業により実施している。	本事業により不要となった施設(旧雄和浄水場取水塔)について撤去工事を行う。	152,000	
配水管整備事業 【老朽配水管更新事業（雄和地域）】	雄和地域の老朽配水管を更新する。 「老朽配水管更新事業（雄和地域）」については、「雄和地域送配水管等整備事業」として実施していたが、平成24年度以降については、市全体の更新計画に基づき、「配水管整備事業」として実施する。	配水管布設替。 ①雄和下黒瀬字町屋敷 長さ=350m。 ②雄和平沢字大部 長さ=20m。	46,800	
管渠建設事業（未普及解消下水道） 【農業集落排水事業 太平、柳田地区】	太平・柳田地区の公共下水道区域について、農業集落排水事業に替えて管渠建設事業（未普及解消下水道）として進める。	柳田・八田・目長崎（太平柳田幹線） 管渠布設 長さ=8,833m。	1,225,713	314,713
管渠建設事業（未普及解消下水道） 【公共下水道管渠建設事業（河辺地域）】	認可区域である和田字式田、坂本地区等の汚水管整備を進めるとともに、未認可区域である和田字宮崎、神内地区等についても認可を取得し、汚水管整備を計画的に進める。	河辺和田地区 管渠布設 長さ=315m。	32,484	7,484

事業名	全体事業概要	26年度事業概要	H26当初予算 (単位：千円)	うちH25年度か らの繰越額 (単位：千円)
第8節 環境の保全と新エネルギーの活用			3,671	0
自然環境保全・環境学習推進経費	本市の自然環境を保全・回復・創出するために必要な調査や審査、情報提供のほか、市民活動計画で認定した市民団体の活動の周知・支援を行うとともに、本市の多様で豊かな自然環境を環境学習・活動へ活用する取り組みを進め、環境保全の推進を図る。 また、持続可能な未来を担う環境にやさしい人づくりを進めるため、子どもから大人までの幅広い年齢層を対象とした環境学習の場の提供や環境学習の推進に努める。	自然環境保全条例に基づき、多様で豊かな自然環境を保全・回復・創出するために必要な調査や情報提供を行うとともに、環境学習・活動へ活用する取り組みを進める。また、環境についてわかりやすく興味を持って学習する場を提供するほか、環境学習の推進に必要な支援を行うことにより、身近な自然や地域の環境を大切にする意識を育む。また、ホタルマップの改訂を行う。	3,671	0
【自然環境保全事業】				
第9節 資源循環システムの充実			12,496	0
ごみ減量対策事業（家庭系ごみ減量・分別啓発活動）	ごみ処理の現状やごみの減量・分別・リサイクルの必要性に理解を深めてもらうこと、および環境施策への参加気運を高めることを目的に、ごみ減量キャンペーンや町内会などの市民団体を対象とした「ごみ減量・分別説明会」等を開催するとともに、レジ袋削減への取組を促す啓発活動を行う。	ごみ減量キャンペーン、各種講座およびごみ減量・分別説明会等の開催や、平成26・27年度版として刷新する「ごみの分け方出し方手引き」の全戸配布、無料で全戸配布されている冊子へのコラム掲載等、多様な媒体を活用し、市民へ啓発するとともに、レジ袋削減への取組を促す啓発活動を行う。	12,496	0
【一般廃棄物減量事業（ごみダイエット作戦）】				

事業名	全体事業概要	26年度事業概要	H26当初予算 (単位：千円)	うちH25年度から の繰越額 (単位：千円)
第2章 豊かで夢と希望を持って生きる活力あるまちづくり			42,678	0
第2節 貿易の振興			9,583	0
対岸経済交流事業 【海外市場開拓支援事業】	中国、台湾、韓国等における販路拡大事業（秋田県貿易促進協会や県などと連携した展示会・フェア等の開催）を実施する。県内企業の輸出有望商品を発掘し、東アジア地域における各商品の有望輸出先調査等を行うことにより、確実な商談機会を設定する。	中国における国際商談会等への参加やフェアの開催等を実施する。 台湾や韓国などで行われる展覧会やフェア等に参加する。	9,583	
第6節 観光・コンベンションの振興			23,500	0
河辺岩見温泉改築事業 【岩見温泉補修・整備事業】	施設の老朽化に伴い、施設規模等を見直して改築を行う。	岩見温泉改築基本・実施設計、地質調査。	23,500	
第7節 農林水産業の振興と市場流通システムの整備			9,595	0
秋田市農林水産業振興戦略会議運営経費 【（仮称）秋田市農林水産業振興戦略会議事業】	秋田市農林水産業振興戦略会議を開催し、「農林水産業・農村振興基本計画」および農林水産業の振興施策に関する審議、提言等を得る。	平成27年度までの5ヶ年を計画期間とする「農林水産業・農村振興基本計画（平成23年3月策定）」の進捗管理および本市農林水産業の振興施策などに関する意見・提言を得る。	129	
浄化槽整備推進事業 【農業集落排水事業 河辺鶴養地区】 【農業集落排水事業 雄和神ヶ村地区】 【農業集落排水事業 雄和繋地区】	公共下水道および農業集落排水などの集合処理区域以外の個別処理区域を対象に、市が設置し維持管理まで行う浄化槽事業を実施し、快適な生活環境の確保と公共用水域の水質保全をはかる。平成18年度に現地調査を行い基本計画を策定し、農業集落排水事業から整備手法を変更した雄和神ヶ村地区、雄和繋地区、河辺鶴養地区を含め、平成19年度から10年間で約800基の浄化槽を整備する。	河辺地域および雄和地域において、計画的な浄化槽の整備を実施する。 浄化槽設置 河辺地域：5基 雄和地域：3基	9,466	

事業名	全体事業概要	26年度事業概要	H26当初予算 (単位：千円)	うちH25年度か らの繰越額 (単位：千円)
第3章 安心して健康にすごす助け合いのまちづくり			597,380	7,103
第1節 地域福祉の推進			3,110	0
障がい者プラン等策定経費 【けやきのまちのしあわせプラン推進事業】	障がい者の自立および社会参加支援等のための施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、本市における障がい者のための施策に関する計画を策定する。	国の指針に基づき、3年を1期として作成している「市町村障害福祉計画」の次期計画「第4期秋田市障がい福祉計画（平成27年～平成29年）」を策定する	415	
介護保険事業計画策定経費 【けやきのまちのしあわせプラン推進事業】	地域における高齢者等の実態を把握し、将来必要な保健福祉サービス等を計画的に整備することを目的として、第8次高齢者プラン(第6期介護保険事業計画)を策定する。	第8次高齢者プラン(第6期介護保険事業計画)を策定する。	695	
地域福祉計画推進経費 【地域福祉計画推進事業】	第3次秋田市地域福祉計画に掲げた重点事業を推進し、ひとり暮らし高齢者等を地域全体で支え合うしくみをつくるとともに、災害時要援護者が災害時に地域の支援で無事に避難でき、安心な避難生活を送れる、地域での支援体制づくりを進める。また、地域福祉活動を推進するための地域コミュニティ活動の活性化を目指す。重点事業の推進により、地域で高齢者などの孤立防止や災害時要援護者の避難行動・避難生活を支援するしくみを構築する。また、地域福祉推進関係者連絡会や担い手育成支援を行うとともに、地域コミュニティ活動活性化策をまとめ推進する。	第3次秋田市地域福祉計画の重点事業推進の取組として、地域福祉推進関係者連絡会や地域福祉活動の担い手育成の研修会を開催する。また、孤立予防のための取組支援や、「災害時要援護者の避難支援プラン」の改訂、避難支援対象者名簿、要援護者把握用リストの更新・配布と各地区の取組支援を行う。	2,000	

事業名	全体事業概要	26年度事業概要	H26当初予算 (単位：千円)	うちH25年度か らの繰越額 (単位：千円)
第3節 障害者保健・福祉の充実			117,208	0
障がい者交通費補助事業 【身体・知的障害者交通費補助事業】	身体・知的障がい児（者）の社会参加促進のため、バス運賃を無料化する。また、在宅重度身体障がい者の通院時タクシー代の一部を助成する。	身体・知的障がい児（者）の社会参加促進のため、バス運賃を無料化する。また、在宅重度身体障がい者の通院時タクシー代の一部を助成する。	106,026	
精神障がい者交通費補助事業 【精神障害者交通費補助事業】	精神障がい者の継続的な通院加療を図り、社会復帰・社会参加を促進するため、通院および訓練施設への通所のために路線バスを利用する精神障害者保健福祉手帳所持者を対象に、福祉特別乗車証を発行し、バス運賃を無料化する。また、地域活動支援センター等通所交通費補助事業を実施する。	精神障害者保健福祉手帳を所持し、通院および通所のために路線バスを利用する者に対し、福祉特別乗車証を発行し、バス運賃を無料化する。また、地域活動支援センター等への通所のためにJRを利用する者を対象に、その運賃を補助する。	11,182	
第5節 保健体制の充実			7,420	0
健康あきた市21計画推進事業 【健康あきた市21推進事業】	広報、マスメディアおよびホームページ等を活用した啓発活動に努める。また、健康づくり運動を市民運動として定着させるため、健康づくりに関する情報提供や健康フォーラムの開催等により、市民の健康づくりに対する意識の醸成を図る。	「第2次健康あきた市21」に基づき市民の健康増進の推進に努める。	1,178	
健康増進情報システム関係経費 【健康増進情報システム統合事業】	がん検診、予防接種等の受診結果等を一元管理している。また、毎年国へ年齢別受診者数等の詳細な事業報告を行っている。	がん検診、予防接種等の受診結果等を一元管理するとともに、市民の健康増進、受診率向上のため検診受診勧奨通知を作成するなど、システムに蓄積されたデータを活用する。	6,242	

事業名	全体事業概要	26年度事業概要	H26当初予算 (単位：千円)	うちH25年度か らの繰越額 (単位：千円)
第7節 医療・救急体制の充実			27,315	0
救急業務高度化推進経費（河辺・雄和） 【救急業務高度化推進事業】	市民が常に高度な救命処置を受けられるよう、救急救命士を養成し救急自動車および高度救命処置用資機材を更新し救急救命体制を整備するとともに、市民による応急手当が救命に反映できるようにAEDの設置促進、応急手当の普及啓発を図る。	新屋救急自動車および高度救命処置用資機材の更新整備。救急救命士2名および救急隊員8名の養成。ビデオ喉頭鏡追加講習に救急救命士2名を派遣。	27,315	
第9節 消防力と防災体制の強化			442,327	7,103
河辺消防署本署改築事業 【消防施設整備関係事業】	老朽化の著しい河辺消防署本署を近隣敷地へ移転改築し、河辺地域の防災拠点として整備することにより、市民の安全安心を確保する。	新庁舎事前家屋調査、本体工事、附帯設備工事、備品購入を実施する。	396,910	
河辺消防署雄和分署改築事業 【消防施設整備関係事業】	老朽化の著しい河辺消防署雄和分署を近隣敷地へ移転改築し、雄和地域の防災拠点として整備することにより、市民の安全安心を確保する。	地質調査、構造設計、省エネ法評価を実施する。	5,308	
車両整備経費（河辺・雄和） 【車両整備事業】	消防車両のうち、経年劣化した消防車両を計画的に更新整備する。経常的に支出を伴うものであるが、消防力の強化と機械装備の近代化、安全性の確保のため、計画の円滑な推進を目指すものである。	消防ポンプ自動車（城東第2小隊）の更新を行う。	30,500	
車両整備経費（非常備）（河辺・雄和） 【車両整備事業（非常備）】	老朽化の著しい小型動力ポンプ積載用自動車の更新整備を行い、災害対応力の強化を図る。	赤平班の小型動力ポンプ積載車の更新を行う。	2,506	
防災行政無線移動系通信システム整備事業 【防災行政無線整備事業】	大規模災害に備え、避難、救助などの防災活動が迅速に行われるように、災害時でも通信回線の制限等に影響されない防災行政無線（デジタル式移動系）を構築する。	防災行政無線移動系通信システム整備の実施設計後、工事、機器の設置および工事監理を行う。	7,103	7,103

事業名	全体事業概要	26年度事業概要	H26当初予算 (単位：千円)	うちH25年度か らの繰越額 (単位：千円)
第4章 可能性を伸ばし生きがいを持てる文化のまちづくり			340,025	28,028
第1節 学校教育の充実			31,619	28,028
雄和地域統合小学校整備事業	雄和地域の川添、種平、戸米川および大正寺小学校を統合し、新校舎を雄和中学校に併設する。	基本、実施設計業務委託を実施する。	28,028	28,028
【小・中学校増改築等事業（雄和地域）】				
教育研究所耐震診断経費	研修環境の改善や建物の耐久性の確保を図るため、教育研究所の耐震診断を行い、必要に応じて補強設計を行う。	教育研究所の耐震診断を行い、必要に応じて補強設計を行う。	3,591	
【教育研究所改修事業】				
第3節 社会教育の充実			154,422	0
児童館等整備事業	児童館等が整備されていない小学校区（太平、山谷、上新城、豊岩、下浜、種平、戸米川）に児童館等を整備し、未設置学区を解消する。また、既設児童館等の大規模改修・改築については、建設されてからの経過年数、本体の老朽化に伴う損傷の程度および施設の利用状況に応じて改修、改築計画を進める。	下浜小学校の特別教室（60.0㎡）を児童室と供用し、下浜児童室（仮称）を整備する。既存の秋田テルサ内にある御所野児童室を廃止し、新たにコミュニティ機能を併せ持つ御所野児童センター（仮称）を建設し、放課後の児童の安全な居場所づくりと健全育成に努める。	154,422	
【児童館等整備事業】				
第5節 市民文化の振興			153,984	0
史跡秋田城跡歴史資料館（仮称）整備事業	国指定史跡秋田城跡の調査研究成果の公開・活用の総合拠点施設となる歴史資料館を建設し、市民の郷土学習の場として、また、観光資源としての活用を図る。	秋田城跡歴史資料館（仮称）の建設工事と展示実施設計を行う。	153,984	
【民俗資料館等整備事業】				

事業名	全体事業概要	26年度事業概要	H26当初予算 (単位：千円)	うちH25年度か らの繰越額 (単位：千円)
第5章 自ら考え主体となって参加する開かれたまちづくり			4,812,510	1,223,853
第6節 行政改革の推進と行政能力の強化			4,812,510	1,223,853
東部市民サービスセンター（仮称）整備事業	住民自治の充実をめざす市民協働と都市内地域分権の拠点施設の一つとして東部市民サービスセンター（仮称）を整備し、平成27年に開設する。市民サービスセンター開設に伴い、東部公民館は廃止・解体し、跡地に広場を整備する。	平成27年の開設に向けて、東部市民サービスセンター（仮称）の建設工事を進める。本体工事ほか。	833,157	
【庁舎・支所等総合整備事業（仮称）東部市民サービスセンター整備事業】				
南部市民サービスセンター整備事業	住民自治の充実をめざす市民協働と都市内地域分権の拠点施設の一つとして南部市民サービスセンターを整備する。南部公民館の整備と合わせて南部地域における市民サービスセンターの機能を確保する。	5月12日に南部市民サービスセンターを開設する。案内標識設置、事後家屋調査ほか。	365,088	269,735
【庁舎・支所等総合整備事業（仮称）南部市民サービスセンター整備事業】				
庁舎建設事業	現本庁舎等が抱える耐震性の不備、老朽化、市民サービスの低下、バリアフリー化への対応の不備、事務効率の低下および防災拠点施設としての機能不備等の解消のため、分館を有効活用しつつ、新庁舎を建設する。	平成25年度に引き続き新庁舎建設工事を行う。今年度は、杭工事および基礎工事を行い、9月からは免震装置を含む地下躯体工事に取りかかり、年度内に3階の躯体工事まで行う。	3,565,918	954,118
【庁舎・支所等総合整備事業 秋田市庁舎新築事業】	22年度：基本構想 23年度：基本設計 24年度：実施設計 25年度：新庁舎建設工事着工 27年度：新庁舎本体完成 28年度：新庁舎建設工事完成、現庁舎解体、分館改修 29年度：外構整備（事業完成）			

事業名	全体事業概要	26年度事業概要	H26当初予算 (単位：千円)	うちH25年度か らの繰越額 (単位：千円)
(建) 戸籍システム運用事業 【戸籍事務等電算化事業】	和紙原本等で保管している戸籍をすべてデータベース化し、コンピュータにより管理・運用する。電算化前は、届出があると戸籍を保管している管轄へ届書を送送し記載処理を行っているものが、電算化後は、連絡所や地域センターを除く全ての戸籍を取り扱う窓口で記載を行えるため、より迅速な対応が可能となった。また、自動交付機による戸籍謄抄本の交付を実施する。	戸籍システムの円滑な運用を図るため、定期点検および保守等により維持管理を行う。	16,530	
電子入札運営事業 【電子入札システム構築事業】	入札制度の公平性、透明性の向上をはかるため、平成26年度に更新する電子入札システムを運用する。電子入札においては、インターネット上で入札情報の提供や指名業者への通知、業者の入札書の提出を行うとともに、開札し、入札結果を自動的に公表する。	電子入札システムの安定的な運用をはかる。また、新システムへの円滑な切替を行う。	30,886	
緑あふれるまちづくり基金積立金 【合併市町村振興基金設置事業】	緑あふれるまちづくり基金への積立金	緑あふれるまちづくり基金への積立金	931	

Ⅲ 進捗状況

	事業数	事業費
「緑あふれる新県都プラン」に 掲載する主要事業	119	950億円(※1)

26年度実施計画	43	90億1,380万円
(再掲：河辺地域関係事業)	(8)	(5億6,358万1千円)
(再掲：雄和地域関係事業)	(11)	(3億6,051万円)
〈参考〉		
25年度実施事業(うち終了事業4)	(45)	(43億2,347万3千円)

※1 「緑あふれる新県都プラン」策定時の財政計画における平成17年度～27年度の事業費の合計金額であり、各年度の事業計画の決定状況によって変動します。

※2 5年度末現在の進捗状況は、事業数ベースでの着手率は87.4%になります(参考値)。